

開催月日	名 称 (開 催 地)
2016 10.17-10.22	26th Fusion Energy Conference (FEC 2016) (Kyoto, Japan)
10.31-11.04	58th Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (California, USA)

■おわびと訂正：

当学会誌11月号 805ページに掲載された「講座 核融合施設における放射線計測の基礎4. JT-60における管理測定の実況4.1中性子環境下におけるトカマク装置運転のための放射線計測」の、英文タイトルおよびタイトルヘッダが間違っておりました。おわびして訂正いたします。

正：4.1 Radiation Measurement for Tokamak Fusion Device Operation under Neutron Environment

こちら編集委員会です

【若手の教科書】

お手元の学会誌の巻 (Vol.) をご覧になると、「89」という数字が目に入ります。Vol.1 は昭和33年発行の『核融合研究』で、それ以来、巻を重ねること55年、来年は記念すべき Vol.90 に達します (※1)。これらの情報は実に膨大で、若手・学生の教科書としての素材にあふれています。昔と違って、現代では、わざわざかさばる学会誌を持ち運ばなくとも、スマートフォンなどで通学のさなか電車で揺られながら過去の記事に目を通すことができます (※2)。プラズマを知らない卒研生が手始めにプラズマを知るための教科書として、日本語で書かれたプラ・核学会誌は良質な教科書たり得ると、編集委員一同自負しております。研究室に常備されているパイプ的存在となれば、編集に携わる者としては望外の喜びです。

※1：平成4年までは一年に2巻のナンバリングがされていました。

※2：JSTの「Journal@rchive (ジャーナルアーカイブ)」に『核融合研究』Vol.1 (1958)～Vol.68 (1992) が収録されています。

次回1月号は1月25日発行の予定です。期待ください。

【1月号予告】

プロジェクトレビュー 核融合科学研究所における数値実験研究プロジェクト

小特集 放射線照射環境下における材料物性値のその場測定

講 座 プラズマプロセスを用いた炭素材料合成の実際と産業利用における課題